

令和 7 年度 徳島県立文書館協議会 次第

日 時： 令和 7 年 9 月 1 1 日（木）
午前 1 0 時から

場 所： 徳島県立文書館 2階 講座室

- 1 開 会
- 2 館長挨拶
- 3 委員自己紹介・職員紹介
- 4 会長・副会長選任
- 5 議 事
 - （1）令和 6 年度事業実績について
 - （2）令和 7 年度事業計画について
 - （3）その他
- 6 閉 会

【配布資料】

資料 1	令和 6 年度徳島県立文書館事業実績
資料 2	令和 7 年度徳島県立文書館事業計画及び実績
参考	規則等

徳島県立文書館協議会委員名簿

令和7年9月11日現在

氏 名	職 名
き た み か 喜多 三佳	四国大学経営情報学部教授
きぬがわ さとし 衣川 仁	徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授
すどう しげき 須藤 茂樹	四国大学文学部教授
たなか けい 田中 佳	徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授
にしもと さおり 西本 沙織	徳島地方史研究会会員(徳島市教育委員会社会教育課 文化財係)
はらだ まさひろ 原田 昌博	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授
ふ ない ゆみこ 船井 由美子	公益社団法人三木文庫学芸員
べっぶ ゆうか 別府 優香	海陽町立博物館学芸員
まつやま たかひろ 松山 隆博	徳島文理大学保健福祉学部教授
いとう こうき 伊藤 虎輝	公募委員

令和6年度徳島県立文書館事業実績

1 来館者数

年 度	文書館	文化の森全館
平成 2年度(5か月間)	17,540人	603,937人
3年度	27,333人	792,842人
4年度	19,297人	713,075人
5年度	17,856人	667,901人
6年度	19,825人	647,249人
7年度	35,078人	792,915人
8年度	19,593人	713,750人
9年度	19,796人	698,616人
10年度	23,316人	723,267人
11年度	26,705人	765,982人
12年度	45,300人	767,760人
13年度	26,263人	751,851人
14年度	25,625人	868,366人
15年度	27,436人	865,498人
16年度	33,056人	924,444人
17年度	39,454人	860,037人
18年度	35,089人	827,699人
19年度	24,215人	878,639人
20年度	27,177人	762,403人
21年度	25,851人	837,371人
22年度	32,948人	792,962人
23年度	25,183人	759,956人
24年度	27,516人	703,187人
25年度	29,133人	669,282人
26年度	36,221人	709,798人
27年度	36,397人	792,122人
28年度	43,816人	937,116人
29年度	40,364人	814,816人
30年度	41,612人	861,121人
令和 31年度	46,969人	877,922人
元年度		
2年度	24,121人	625,400人
3年度	40,281人	627,879人
4年度	45,541人	677,905人
5年度	31,695人	627,448人
6年度	43,140人	692,665人
累 計	1,080,742人	26,633,181人

2 企画展示事業

(1) 令和5年度よりの残事業

①文書館の逸品点「公文書を残す」

令和6年1月30日～令和6年4月21日(17日)

入館者数 1,188人<4月1日より4月21日まで>

(2) 令和6年度の企画展

①第68回企画展「折り込みチラシに見る徳島の30年」

令和6年4月23日～8月4日

入館者数 8,062人

②第69回企画展「徳島が高知県だったころ」

令和6年8月6日～10月27日

入館者数 6,722人

③第70回企画展「お役人様がやってきた！」

令和6年10月29日～令和7年1月26日

入館者数 5,336人

④第71回企画展「花ひらく阿波の興行」

令和7年1月28日～令和7年4月20日

入館者数 4,529人（令和7年3月末まで）

（3）共催展示

①「文書館収蔵資料に見る『入学・卒業』」

・令和6年4月2日～4月21日

・徳島県立二十一世紀館との共催

・徳島県立二十一世紀館U字型展示ケースを使用

②「折り込みチラシに見る徳島の30年」（第2会場）

・令和6年4月23日～8月4日

・徳島県立二十一世紀館との共催

・徳島県立二十一世紀館U字型展示ケースを使用

（4）出張展示

当館の収蔵資料を県内の各地で展示・紹介する取組を行っている。

令和6年度は実施せず。

3 教育普及事業

（1）郷土の歴史や文化に関する講座を開催し、県民に生涯教育の場を提供した。

①古文書講座

ア 古文書講座（初級）

・令和6年5月11日～9月28日 第2・4土曜日（計10回）

・募集定員40人程度

・館所蔵の史料を利用して、古文書等の基礎的知識の習得及び解読能力の向上をはかった。

・参加者延べ 300人

・講座内容は以下のとおり

①	開講式・入門講座
②	和本を読む（仮名文字と言ひ回し） －「阿波名所図会」を読む1－
③	和本・書軸を読む（文字に慣れる） －「阿波名所図会」を読む2－
④	江戸時代の文体に慣れる1 －徳島の古文書を読む会刊行の史料集を読む－
⑤	江戸時代の文体に慣れる2 －徳島の古文書を読む会刊行の史料集を読む－
⑥	古文書の文字に慣れる1 －地域に残る古文書を読む－
⑦	古文書の文字に慣れる2 －地域に残る古文書を読む－
⑧	古文書の辞書を使う1 －証文・切手を読む－
⑨	古文書の辞書を使う2 －証文・切手を読む－
⑩	書簡を読む・閉講式（修了証授与）

イ 古文書講座（中級）

- ・令和6年10月12日～令和7年1月25日 隔週土曜日 （計8回）
- ・募集定員40人程度
- ・当館の古文書講座（初級）の修了者を対象に、徳島県内の史料等を利用して、古文書についてさらに深く知りたいという人々の要望に応えた。
- ・参加者延べ 199人
- ・講座内容は以下のとおり

①	「村々における宗門改めについて」
②	「公儀のお役人様がやってくる！パートⅠ」
③	「江戸時代の触書を読む ―菜種・綿実の移入禁止―」
④	「江戸時代の博奕関係資料を読む」
⑤	「江戸時代の阿波の綿作関係資料を読む」
⑥	「公儀のお役人様がやってくる！パートⅡ」
⑦	「金磯新田開発文書を読む」
⑧	「暇証文あれこれ」

②文書館歴史講演会

阿波国や徳島県の歴史に関する講演会を、外部講師を招いて開催した。

- ・令和6年10月5日（土）
- ・演 題 「“水” から見る徳島藩領の村落」
- ・講 師 東京都江戸東京博物館学芸員 小酒井 大悟氏
- ・参加者 34人

③展示解説

企画展・資料紹介展の展示講演会・展示解説を開催することによって、展示内容や時代背景などをより深く知りたいという人々の要望に応えた。

①	文書館の逸品点「公文書を残す」 展示解説(3) 令和6年 4月 7日（日） 参加者 10人
②	第68回企画展「折り込みチラシに見る徳島の30年」 展示解説(1) 令和6年 5月19日（日） 参加者 13人 展示解説(2) 令和6年 6月 1日（土） 参加者 18人 展示解説(3) 令和6年 7月26日（金） 参加者 12人
③	第69回企画展「徳島が高知県だったころ」 展示解説(1) 令和6年 8月17日（土） 参加者 13人 展示解説(2) 令和6年 9月20日（金） 参加者 28人 展示解説(3) 令和6年10月14日（月祝） 参加者 29人
④	第70回企画展「お役人様がやってきた！」 展示解説(1) 令和6年11月15日（金） 参加者 18人 展示解説(2) 令和6年12月 7日（土） 参加者 22人 展示解説(3) 令和7年 1月19日（日） 参加者 18人
⑤	第71回企画展「花ひらく阿波の興行」 展示解説(1) 令和7年 2月14日（金） 参加者 15人 展示解説(2) 令和7年 3月23日（日） 参加者 15人

（2）文書資料保存に携わる職員等や民間の古文書所蔵者を対象に、資料保存に関する知識を提供している。

①古文書保存講座

令和6年度は館の事情のため実施せず。

（3）ボランティア活動

①古文書補修ボランティア・同養成講座

- ・毎月2回（第1・第3水曜日）
- ・参加者延べ 286人（1日平均12人程度）
- ・文書館収蔵古文書の補修を行った。

(4) 文書館活動の内容や研究成果を発表・報告した。

- | | |
|--|--------------|
| ①「文書館年報」第27号
(※第21号より当館ホームページ掲載のみに移行) | 令和6年 9月11日発行 |
| ②図録「折り込みチラシに見る徳島の30年」 | 令和6年 4月23日発行 |
| ③図録「徳島が高知県だったころ」 | 令和6年 8月 6日発行 |
| ④図録「お役人様がやってきた！」 | 令和6年10月29日発行 |
| ⑤図録「花ひらく阿波の興行」 | 令和7年 1月28日発行 |

(5) その他の教育普及事業

①文書館ウィーク

例年、中国・四国地区の各文書館・公文書館では、公文書館法施行の記念日である6月1日からの1週間を「文書館（アーカイブズ）ウィーク」として、各種イベントを開催している。令和6年度は当該期間中に、開催中の展示についての解説を実施した。

②教員のための文書館活用講座

平成28年度より、県内の中学校社会科・高校地歴科教員を対象に開講し、文書館資料を地域史学習の教材として活用するヒントやノウハウを伝えている。令和3年度からは教職を目指す大学生・大学院生も対象に募集を行った。令和6年度は館の事情により開催せず。

③公文書管理・保存講座

例年、主に県内自治体の職員を対象に開講し、公文書の保存と活用の重要性を伝えている。令和6年度は館の事情により開催せず。

4 調査研究事業

(1) 県内外に所在する本県関係の古文書や公文書など貴重な歴史資料の調査・収集、市町村所蔵史料の整理支援を進めた。

【資料調査・収集先】

- ・徳島市立加茂名小学校（徳島市）
- ・徳島県農林水産総合技術支援センター（海部郡美波町）
- ・徳島県立池田高等学校辻校（三好市）
- ・湯浅家（徳島市）
- ・阿南市立椿町中学校（阿南市）
- ・近藤家（名西郡石井町）

(2) 県内資料の所在調査及び情報収集を円滑に行うため県内各地域に資料調査員を置き、情報収集に努めている。また、文書館資料調査員会議を年1回開催している。令和元年度より令和4年度までは開催できなかったが、令和5年度は、令和6年3月19日に開催することができた。令和6年度は館の事情により開催せず。

(3) 文書館関係の情報交換及び研修をはかった。

- | | |
|--|------|
| ①全国公文書館長会議（東京都） | 1名参加 |
| ②国立公文書館主催アーカイブズ研修Ⅱ（オンライン） | 2名参加 |
| ③全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（全史料協）近畿部会運営委員会（オンライン） | 2名参加 |
| ④全史料協第1回大会・研修委員会（オンライン） | 3名参加 |
| ⑤国際アーカイブズ週間記念講演会（東京都） | 1名参加 |
| ⑥全史料協近畿部会総会および第170回例会（滋賀県立公文書館） | 1名参加 |
| ⑦全史料協第2回大会・研修委員会（仙台市） | 2名参加 |
| ⑧全史料協近畿部会総会および第171回例会（神戸まちづくり会館） | 6名参加 |
| ⑨中国・四国地区文書館等職員連絡会議（広島市） | 1名参加 |
| ⑩徳島県博物館協議会研修会（阿波木偶文化資料館ほか） | 1名参加 |
| ⑪全史料協第50回全国（仙台）大会（仙台市） | 3名参加 |
| ⑫東京文化財研究所主催フォーラム（オンライン） | 3名参加 |

- | | |
|-----------------------|------|
| ⑬全史料協第4回大会・研修委員会 | 3名参加 |
| ⑭全史料協役員会（あまがさきアーカイブズ） | 1名参加 |
| ⑮全史料協近畿部会運営委員会（オンライン） | 1名参加 |

※なお、徳島県立文書館は令和5年度より2年間、全史料協大会・研修委員会の事務局として、令和5年度に東京、令和6年度に宮城県仙台市で開催した全史料協全国大会の準備や運営、会計などの事務全般を担った。

5 資料収集整理

古文書、公文書及び行政資料など歴史的文化的価値のある文書を広く収集するとともに、整理保存を行い、閲覧等の利用に供した。

（1）整理状況

種 類		令和6年度末
公 文 書		26,695
古 文 書		236,827
行政資料	図書普通	64,013
	図書大型	1,038
	逐次刊行物	7,412
	一枚物	793
	地図	469
	図面	8
	ポスター	6,263
	フィルム	320
	ビデオカセット	595
	テープ	190
	マイクロフィルム	2,008
	光ディスク	166
	その他	43
計		83,318
図 書		12,277
古 写 真		13,576
そ の 他		0

※新たな業務システムへの以降に伴い種類の分け方が変わりました。

（2）令和6年度寄贈・寄託資料等

- ・林家文書（1,687点）
- ・満石家文書（2,017点）
- ・井内聡家文書（97点）

（3）令和6年度公開古文書

- ・西野・多田家文書（9,729点）
- ・満石家文書（1,469点）
- ・村井家文書（513点）

6 文書館への視察・インターンシップ等の受け入れ

- ・徳島市立高等学校生徒（インターンシップ）
- ・徳島県職員希望学生による1dayサマーチャレンジおよびサマープログラム（インターンシップ）
- ・徳島県立城東高等学校生徒（資料閲覧）
- ・愛媛県職員（館内見学）
- ・全史料協大会・研修委員（館内見学）

7 講座・講演会への出講・出前授業派遣・学術会議への招へい等

- ・阿波学会総合学術調査
- ・阿波の歴史を小説にする会
- ・歴史文化倶楽部月例講座
- ・美馬市古文書講座
- ・徳島県祭り・行事に関する調査委員会
- ・シルバー大学院
- ・シルバー大学校
- ・東北大学アーカイブズ学研究演習
- ・吉野川学識者会議
- ・徳島市史講座
- ・学芸員養成科目（資料保存論・普及活動）
- ・鴨島公民館講座
- ・海陽町立博物館古文書読み方講座

8 新文書館システム構築事業

公文書管理条例や電子公文書の受け入れに対応するため、新たな業務システムを構築し、令和7年3月から稼働した。

令和 7 年度 徳島県立文書館事業計画及び実績

令和 7 年度当初予算額	1 5, 8 6 8 千円 (文書館システム構築事業5, 654千円を含む)
令和 6 年度当初予算額	2 1, 5 1 6 千円 (新文書館システム構築事業14, 985千円を含む)

1 一般管理費 1, 6 2 2 千円 (前年度 1, 1 7 9 千円)

文書館協議会の開催、各種機器の保守点検の実施等、館全体の管理運営を行う。

2 企画展示事業 2, 5 8 7 千円 (前年度 1, 5 8 7 千円)**(1) 企画展**

徳島県の歴史や文化に関するテーマについての展示を、約 3 か月を会期として年 4 回開催する。展示ごとに図録を作成し、郷土の歴史や文化に対する県民への発信を行う。

①第 7 2 回企画展「徳島と博覧会」

令和 7 年 4 月 2 2 日～8 月 3 日

令和 7 年に開催される大阪・関西万博に寄せて、これまで様々な地域で開催されてきた歴史的な博覧会について、文書館収蔵資料を通じて紹介する。

②第 7 3 回企画展「藍商と化政文化ー春足文書繙けばー」

令和 7 年 8 月 5 日～1 0 月 2 6 日

江戸時代に活躍した藍商たちは、阿波の経済のみならず文化の発展にも寄与した。狂歌師として活躍した藍商「遠藤春足」の筆跡を中心に、阿波での文化の広がりについて紹介する。

③第 7 4 回企画展「徳島の旧制中学校ー県立徳島中学校創立150年に寄せてー」

令和 8 年 1 0 月 2 8 日～令和 8 年 1 月 2 5 日

旧制徳島中学校（現徳島県立城南高等学校）の創立 1 5 0 周年に寄せて、脇町・富岡など各地に創設された徳島の旧制中学校について、文書館収蔵資料と各校から借用した資料等を通して紹介する。

④第 7 5 回企画展「出発のランドマークー橋から始まる冒険ー」

令和 8 年 1 月 2 7 日～令和 8 年 4 月 2 6 日 ※2/16～2/26は休止

橋とは兩岸をつなぐのみならず、それぞれに個性があり、別世界に入り込むようなドキドキワクワクをを与えてくれる。文書館収蔵資料を通して、徳島の各地にかかる橋について紹介する。

(改修工事のため、県立図書館での実施を計画中)

(2) 出張展示

当館の収蔵資料を県内の各地で展示・紹介する取組を行う。

(3) 共催展示 (実施済を含む)

他機関との共催で、文書館の収蔵資料を展示・紹介する。

①「戦後 8 0 年」戦争の記憶を次世代へ (主催：徳島市)

期間 令和 7 年 7 月 2 3 日～8 月 1 5 日

場所 徳島市立図書館

3 教育普及事業 579千円（前年度 579千円）

（1）郷土の歴史や文化に関する講座を開催し、県民に生涯学習の場を提供する。

①古文書講座

- ・収蔵資料を利用し、古文書等の基礎的知識の習得及び解説能力向上を図る。
- ・令和7年5月～令和7年1月
初級全10回・中級全8回 計18回実施予定
- ・令和6年8月末現在、古文書講座（初級）第8回まで終了

②文書館歴史講演会

例年、当館の企画展に合わせた内容や、徳島県内の史料を用いた講演会を企画している。令和7年度は現在企画中。

③展示解説

企画展の期間中に3回実施。展示内容や時代背景などについて解説を行う。

（2）文書資料保存に関する知識を伝える。

①古文書保存講座

市町村の古文書保存担当者や古文書所有者等を対象とした、歴史資料保存のための知識を普及するための講座

②古文書補修ボランティア養成講座

- ・毎月第1、第3水曜日
- ・補修ボランティアとしての活動を希望する方を対象とした養成講座

③公文書管理・保存講座

- ・主に県及び市町村職員を対象とした、公文書の保存管理を学ぶ講座

（3）教育機関との連携をはかる。

①教員のための文書館活用講座

- ・中学校・高等学校の社会科・地歴科教員と教員を目指す大学生・大学院生を対象に、文書館資料の授業への活用について解説している。
- ・令和7年度は8月7日に実施し、現役教員2名・大学院生2名の参加があった。

②出前授業

- ・学校現場との連携を深めるため、積極的に案内している。
- ・学校現場ではないが、令和7年度は7月23日に、初めて放課後児童クラブにて講座を行った。

③校外学習・インターンシップの受入（実施済を含む）

- ・県担当課や教育機関からの依頼により実施している。
- ・令和7年度は、県職員への就職を希望する大学生を対象とした「1dayサマーチャレンジ」が8月に実施され、2名の大学生が当館の業務を体験した。

④学生ボランティアの受入（実施済を含む）

- ・年4回のフェスティバル行事の準備・運営の手伝いを募集する。
- ・令和7年度は、5月開催の「文化の森こどもの日フェスティバル」の準備および運営に延べ5名の学生が参加した。

- ⑤学芸員養成科目・シルバー大学校・シルバー大学院への出講(実施済を含む)
- ・徳島県と徳島大学・鳴門教育大学・四国大学との間の協定に基づき、開講している学芸員養成科目において、令和7年9月9日に「類縁機関における資料保存」の講義を担当した。
 - ・シルバー大学校では、従来から歴史的分野の講座を当館職員が担当しているが、令和7年度からは、文書館の業務と資料保存に関する講座「はじめての文書館」も行うこととした。

(4) 文書館の活動をアピールする。

①文書館ウィーク

中国・四国地区の各文書館・公文書館では、公文書館法施行の記念日である6月1日からの1週間を「文書館（アーカイブズ）ウィーク」として、各種イベントを開催している。

令和7年度は、6月1日に徳島県博物館協議会主催の「アワカルト講座（文と武）」を館内講座室にて実施し、6月6日に当時開催中の企画展「徳島と博覧会」の展示解説を実施した。

②戦後80年文書館ナトコ映画祭

- ・令和7年8月22・23日、県立二十一世紀館ミニシアターにて実施。
- ・GHQの占領政策の一環として、戦後、日本各地で巡回上映されたCIE教育映画（通称「ナトコ映画」）。当館が所蔵する作品の中から各日4作品ずつ上映した。
- ・参加者延べ19人。
- ・これまで、戦後60年、65年、70年、75年にも実施している。

③文化の森こどもの日フェスティバル

- ・令和7年5月5日に実施。
- ・当館では「牛乳パックをリサイクルしてオリジナルはがきを作ろう」
- ・「徳島の歴史パズル」・「くずし字クイズ“古文書仮面からの挑戦状！”」を実施した。

④文化の森サマーフェスティバル

- ・令和7年8月11日に実施。
- ・当館は「和紙を使ったオリジナルうちわ作り」・「くずし字クイズ“古文書仮面からの挑戦状！”」を実施した。

⑤文化の⑤森よるあそび

- ・令和7年9月19日に実施予定。
- ・文化の森開園35年を記念して通常閉館している夜間に一夜限りのイベントを開催する。当館では、写真上映“レトロ”～昭和の徳島～を実施予定。

⑥文化の森秋祭り

- ・令和7年11月3日に実施予定。
- ・当館では、クイズに答えながら館内を巡る「文書館クエスト」を開催予定。

⑦文化の森ウィンターフェスティバル

- ・令和8年2月11日に実施予定。
- ・文化の森各館共催でワークショップなどを実施する。（内容は協議中）

(5) 古文書補修ボランティア

- ・毎月第1・第3水曜日に開催。
- ・文書館所蔵資料の補修を行う。
- ・令和7年4月～8月の平均参加者は10名程度（見学者含む）

(6) 「徳島の古文書を読む会」の活動支援

〈「徳島の古文書を読む会」について〉

平成3年、当館主催の古文書講座の修了生によって結成された。現在、約90名の会員が7班に分かれ、毎月1回、文書館で古文書解読を行っている。県内外の各種機関がもつ歴史資料に触れる臨地見学会や、県内の他の古文書解読サークルとの合同学習会も実施し、例年、総会の際には講演会も行っている。平成16年からは史料集の作成に着手し、これまでに、合計16冊を刊行している。

(7) 「文書館年報」「文書館だより」等を作成する。

※「文書館年報」は第21号より、「文書館だより」は第43号より、当館ホームページの掲載のみに移行している。

4 調査研究事業 1, 140千円（前年度 1, 140千円）

- ①文書館収蔵資料の調査研究を行うとともに、県内外に所在する公文書や古文書など貴重な歴史資料の調査・収集を進め、その成果として研究紀要等の刊行を行う。
- ②資料調査員を置き、県内資料の所在調査および情報収集を行う。
- ③各種研修会等に参加し、文書館職員としての知識や技術の習得と向上を図る。
- ④県内大学や研究機関等との連携による資料整理を行う。

5 資料収集整理事業 2, 046千円（前年度 2, 046千円）

- ①公文書や古文書など歴史的文化的価値のある資料を広く収集すると共に、整理・保存を行い、閲覧等の利用に供する。
- ②歴史資料のうち現物の収集ができないものは、デジタル撮影等により複製物を作成する。

6 資料保存設備改修事業 2, 240千円（新規）

資料のくん蒸に使用していた薬品（エキヒュームS）の販売が令和6年度末で終了したため、炭酸ガスによるくん蒸に切り替えることとし、既存設備の改修工事を行う。

7 文書館システム構築事業 5, 654千円（前年度 14, 985千円）

前年度に引き続き、新たな業務システムの構築を進める。

前年度は、館内での利用と職員の業務支援に係る部分を構築した。本年度は、利用手続きのオンライン化や目録と資料画像との連携表示、マルチデバイスへの対応など、利用者向け機能の整備を行う。

8 長寿命化改修工事（※予算執行及び工事の所管は営繕課）

老朽化により館内の複数箇所ですみ漏りが常態化しているため、修繕工事を行う。

徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年3月26日・徳島県条例第11号）〈抄〉

（協議会）

第7条 知事の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

協議会の名称	所掌事務
<hr/>	
徳島県立文書館協議会	文書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、知事に対して意見を述べること。
<hr/>	

- 2 協議会は、委員10人以内で組織する。
- 3 徳島県立図書館協議会、徳島県立博物館協議会、徳島県立近代美術館協議会及び徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。
- 4 徳島県立文書館協議会及び徳島県立二十一世紀館協議会の委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、知事が任命する。
- 5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 委員は、再任されることができる。
- 7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

徳島県立文書館協議会規則（令和2年3月24日・徳島県規則第42号）

（趣旨）

第1条 この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成二年徳島県条例第十一号）第七条第七項の規定に基づき、徳島県立文書館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会に、会長及び副会長各一人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（雑則）

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。